空室情報

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

今月の「空き住戸出ました！おススメのお部屋」です。

● コレクティブハウス大泉学園

この価格で、
これだけついてくる！

1R 13㎡ 家賃 49,000 円 ＋ 広々コモンスペース
＋ 360°展望の屋上
＋ コモンキッチンの調理器具
＋ 24 時間風呂

このハウスには、
24 時間風呂あります

コレクティブハウスとは？

NPO コレクティブハウジング社(CHC)が、企画・推進する
「多世代でつながる・地域とつながる」
新しい仕組みの賃貸住宅です。

各ハウス 居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ

スガモフラット
http://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/

コレクティブハウス聖蹟
http://chcseiseki.blog60.fc2.com/

コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/

事業主募集中！

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

NPO コレクティブハウジング社(CHC)では、事業主を募集しています。
コレクティブハウスは、大家さんの余分な手間やコストを削減し、空室を減らします。
CHC が、居住者の暮らしと大家さんの物件管理の両方の運営支援を行いますので、安心して賃貸物件としての事業を継続できます。コレクティブハウスの賃貸事業に興味ある事業主さん、ご連絡お待ちしております！
たくさんの居住希望者が、住みたいまちのエリアを中心に、事業主さん探しの活動を続けています。

居住希望者の活動の様子

http://common-meal.blogspot.jp/

スケジュール

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

● 住みたい方 オリエンテーション

コレクティブハウスに住みたい
暮らしづくりに興味のある方

1 月 10 日(土) 15:00～17:00
1 月 14 日(水) 19:00～21:00
1 月 28 日(水) 19:00～21:00

参加費： 2,000 円
会場： 目白 CHC オフィス

● コレクティブハウジング 入門

コレクティブハウジングのことを
お知りになりたい方

1 月 22 日(木) 19:00～20:30
1 月 26 日(月) 13:30～15:00

参加費： 3,000 円
会場： 目白 CHC オフィス

●コレクティブハウス 見学会

実際のハウスを見てみたい方

コレクティブハウス聖蹟
1 月 24 日(土) 13:00～15:00
コレクティブハウス大泉学園
1 月 25 日(日) 14:00～15:30

参加費： 2,000 円
会場： 各ハウス

お知らせ

● Facebook
CHC の facebook ページ「コレクティブハウジングで行こう！」を
ホームページのトップページからご覧頂けるようになりました。
ぜひ「いいね！」ボタンへのクリックをお願い致します。
http://www.chc.or.jp/

● 目白オフィス　オープンデイ
目白オフィス、会員の皆さまにお気軽にお越し頂けるよう、
毎週木曜日午後をオフィス オープンデイとしています。
事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。
お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。
※　都合によりメンバーが不在の場合もありますので、お越しの際には、事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / MAIL: info@chc.or.jp

目白 CHC オフィスへのアクセス

〒171-0031
東京都豊島区目白 3-4-5 アビタメジロ 302
03-5906-5340

人材募集！　あなたのやる気、専門知識を活かしませんか？
NPO コレクティブハウジング社では、活動に協力してくれる人材を募集しています。info@chc.or.jp まで

コレクティブなつながりを創造する　　2015 年 1 月 10 日 第 7 号

ほぼ月刊 CHC

これこれ新聞

NPO コレクティブハウジング社（CHC）オンライン
http://www.chc.or.jp/
お問い合わせは、03 – 5906 – 5340 または、info@chc.or.jp まで

月刊これこれ新聞
定価 200 円（税込）
定期購読 1,980 円（年間/送料別）

CHC 最新活動ニュース　　*第 2 第 4 木曜日は「オープンデイカフェ」*

「オープンデイカフェ」で映画を語ろう

今月のトピック

オープンデイカフェ開催！
当日は、台風の影響で雨でしたが、地元の方に案内してもらい、所沢を満喫しました。

居住希望者便り
居住希望者の会 中野チーム
コレクティブハウスづくり活動中のメンバーより、熱い想いを込めたメッセージをいただきました。
中野タウン誌「おこのみっくすマガジン」に掲載された、大家さん募集の広告を再掲。

スタッフブログ
中野で開催のイベント「とおりゃんせあらい」の運営スタッフとして、お手伝いに行ってきました！

育児日誌・これからカフェ
連載コラム「育児日誌 in コレクティブハウス」に、毎月開催のこれからカフェが登場！次回「書き初めカフェ」のお知らせ掲載。

お知らせ
近日開催の各講座、オリエンテーションのスケジュール、コレクティブハウスの空き住戸、情報満載！

第 1 回：「人生、ここにあり！」Si può fare

日時：2015 年 1 月 15 日(木) 19:00 ～
場所：目白 CHC オフィス

　コレクティブハウジングに興味を持っている人たちと心の琴線に触れる何かを共有し、語り合える場が持てたら…
　そんな思いで、準備しなくても気軽に続けられる楽しいことをはじめたいなあと思い立ったのが「映画でカタルーニャ♪」です。
ださいネーミングをステキにコピーライトしてくれる人募集します。
　オープンデイカフェとして、早速始めます。是非ご一緒に！

＜1 月の映画　「人生、ここにあり！Si può fare」＞
　2008 年（伊）　監督：ジュリオ・マンフレドニア 111 分

笑えて、泣けて、感動して、問われて…私が大好きな映画の一つです。
是非一緒に見て、あれこれ言い合って楽しい時間を過ごしましょう！
今回の映画推薦者：カリノ

■ 人生、ここにあり！

1978 年、バザーリア法によって精神病院をなくしたイタリア。この映画の設定は 1983 年、実話を元にした物語です。精神病院から追い出された元患者たちの協同組合？！で働く？自由になった？はずの無気力な組合員達と労働組合を移動させられてしまったバリバリの熱血組合員そんな面白い組み合わせの出会いが、様々なドラマを生んでいきます。

http://jinsei-koko.com/

発行　NPO コレクティブハウジング社（CHC）　〒171-0031 東京都豊島区目白 3-4-5 アビタメジロ 302
TEL: 03-5906-5340 / FAX: 03-5906-5341
E-mail: info@chc.or.jp

お知らせ 第 41 回住総研シンポジウム
「場所に生きる」 - 主体性を育む住まいのこれから -

2015 年 2 月 9 日（月） 13：30　建築会館ホール

２月９日に宮前共同代表理事が、パネリストとして登壇します。
お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時：2015 年２月９日（月）13:30 ～ 17:00
会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）
　　JR 田町駅三田口徒歩３分、都営地下鉄三田駅 A3 出口徒歩３分
参加費：一般 1,000 円　学生 500 円
　　※ 参加費はすべて東日本大震災復興義捐金として
　　被災地にお送り致します。
定員：150 名
お問い合わせ：一般財団法人住総研
　　E-mail：sympo@jusoken.or.jp
　　TEL：03-3484-5381 / FAX：03-3484-5794
HP：http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusokensympo_41.html
申込み締切：２月２日（月）

「場所に生きる」 - 主体性を育む住まいのこれから -

内山節　（立教大学大学院教授／NPO 法人森づくりフォーラム代表理事／哲学者）

「マイホーム」という言葉に表される持家政策は「住まいは商品」、「住まいは記号」かのごとく高度消費社会において、住まいの主体性を希薄にしてきたのではないでしょうか。そんな疑問をもって、住まいにおける主体性を考えてきました。

「自分で作る　DIY」が今、また新鮮なトレンドになりつつあります。東日本大震災の被災地において、地元の有志と外部から多くのボランティアが一緒になって家を直したり、古民家などを宿泊の場やカフェ、レストランに整備しています。しかもそれが古さと新しさがミックスされたセンスよい表現となっています。そして住み着く若者も増えています。生きる場所を見つけた若者の顔はすがすがしい。一方、地方の再生に若きクリエイター達が DIY 的に居住空間を整備している例も増えつつあります。大都市集中のいびつな居住の構造も変わるのでしょうか。

「場所を作る　Place Making」は住宅から地域に広がり、場所に自分の存在を関係づけます。そして、生きる喜びや安全・安心の生活空間形成になっているのかも知れません。

これまで高度消費社会の中に埋没したかのような、住まいの主体性に問題提起をして議論してきましたが、最終回ではその哲学的な問いかけに答えを求めるべく、実践的哲学者の内山節さんを招き、これからの方向性について討議を行ないます。

これこれ川柳

子どもたち わいわい遊んで しかられる
　　― 鱒鱗（小３）

遊ぶだけ 遊んでおいて 片付けない
　　― 鱒鱗（小３）

こどもらの シャウトが響く コモンから
　　― 島こうさく

月末半 いまだに精算 終わらない
　　― 先月のミール精算担当

持ち寄りの 料理人柄 味をだす
　　― 深山

2年ぶり 書記のやること 忘れてる
　　― いさむ

明日ミール メニュー浮かばず またカレー
　　― ミール当番

※皆さまも、お詠みになった川柳を、編集部宛てに、お送りください。

連載コラム ― 育児日誌 in コレクティブハウス ―　その４

コレクティブハウス居住者、O 橋さん（40 代男性）のコレクティブハウスでの子育てと暮らしの様子をお伝えするコラムです。O 橋さんの奮闘する育児の様子を楽しみながら、見守って頂けますと幸いです。

11 月に、ハウスで芋煮会を開催しました。寒い中、芋煮を食べるのって、体も暖まるし、おいしいですよね。

僕の住んでいるハウスでは、「これからプロジェクト」と銘打って、毎月イベントを開催しています。これからの「これ」は、コレクティブハウスの「コレ」。他人どうしが住んでいる私たちのハウス内の人のつながりが、地域にもつながっていけたら楽しいなと思い、ハウスの外の方と一緒に開催するイベントです。

駐車場スペースを利用して、芋煮会

段ボールを使って、みんなで燻製作り

災害時に調理用として使えると言われる、ロケットストーブと薪を使って、ゆで卵を作ってみました。

「これからカフェ」として６月に始まってから、「これからビアガーデン」「これからBBQ」「これからお月見会」と、回数を重ね、今回は「これから芋煮会」でした。

この間で学んだことの一つは、イベントの参加者をお客様扱いしないこと。サービスを提供する側・される側と分けず、みんなイベントをつくるメンバーになってしまうことです。今回は、芋煮をただ食べるだけでなく、燻製作りにみんなで挑戦しました。何か一緒に作業をすると、親近感や信頼感が芽生えるというのが、コレクティブハウス流。今や、イベントの企画運営そのものに、ハウス外のメンバーが続々と加入しています。

子育てでは特にそうなのですが、地域のつながりって、大切ですよね。そのことは、年配の方や、地域で暮らす障害者の方も同じだと思いますが、普通に暮らす若い人だって、きっとそうです。特に、災害時を考えれば、誰にとってだって、地域とのつながりは重要なはずです。

なので、常に防災のことも含めつつ、イベントの内容を考えています。

また、安心できる食材とはどんなものか、ということも常にテーマに入っており、顔の見える関係からということで、近くの農園の野菜を、ファーマーズマーケットのように販売してみたところ、非常に好評でした。

友達、たくさんできて、楽しい毎日！！

娘は、一歳八ヶ月で、保育園の友達の他に、ハウスの子どもたち、そして、これからイベントを通じて知り合った友達もできました。自分の子どももそうですが、つながりを持ったこの子たちが成長する姿を見られることが、とても楽しみです。

卵・チーズ・ソーセージを燻製に。

近所の農園から
ファーマーズマーケット

山形出身のばあばも、
芋煮会に駆けつけてくれました

近所の同い年の子と遊ぶ娘

次回 これから〈書き初め〉カフェのお知らせ

日時： 2015 年 1 月 24 日(土) 12:00 ～ 17:00
場所： コレクティブハウス聖蹟

立春前の書き初めで、心機一転のスタートにしませんか？
温かい飲み物・食べ物をご用意して、お待ちしています。

お問い合わせは、colle-kara@googlegroups.com まで。

【スタッフブログ】

「とおりゃんせあらい」と、中野のこと。

2014 年 11 月、新井薬師駅商店会など近隣５商店街で開催された「とおりゃんせあらい」というイベントに参加してきました。
「とおりゃんせあらい」は、11 月３日～23 日まで３週間に亘った催し。（すでに終わってしまったイベントのご報告で恐縮です。）

期間中、対象エリア 100 か所に設置された iPad で来店ポイントをためて、景品と交換できたり、指定店で買い物をしてシールを集めて参加するビンゴラリーなど５商店街に行ったり利用したりすることでお宝ゲットできる楽しい仕組みになっていました。「文明開化の音が鳴る」というコンセプトで、週末には人力車が走ったり、ちんどん屋さんのパレードや講談などの、昔を感じさせる催し物や、新井薬師梅照院ではさまざまなバンドのライブなど、楽しいスペシャルイベントが開催されていました。
ＣＨＣは、ご縁があって、週末イベント開催日にお手伝いに伺い、協力団体としてパンフレットなどに名前を記載していただきました。（少人数だったのに、本当にありがたいことです。）

さて、私が伺ったのは初日と千秋楽。両日とも天気が良く気持ちの良い秋晴れでした。開催初日、威勢の良い掛け声とともに街を走る人力車は、申込制で大人気だった模様。また、ちんどん屋さんの練り歩きはとても懐かしく、かつ新鮮。ディキシーランドバンドのパレードも、軽やかで楽しかったです。新井薬師梅照院では露店もあり、大悲殿というホールでは講談やさまざまなバンドのライブなどが行われて、にぎわっていました。

最終日は、ポイントラリーには景品交換に訪れる人たちの列ができ、期間中のイベント参加者数や商店街全体の来店が多かったことがうかがえました。ボランティアの合間に覗かせてもらったライブはとても楽しかったです。なかでも、ちんどん「のまど舎」と、法楽太鼓の塚越秀成さんとのコラボは圧巻。その迫力に圧倒されました。
締めは、ビンゴラリーを中心とした大抽選会。ＪＲ中野駅の駅長さんも駆けつけて、ご挨拶のほか景気づけの発声もしてくださったり、盛り上がってスタート。
ＣＨＣも、他の協力団体の方々と並んで、３等の抽選をさせていただきましたが、ジャンケン大会など、最後まで来場者の方々が楽しめる仕掛けが用意され、楽しいお開きとなりました。

今回のお話をいただいたのは、中野といえば…の、タウン誌『おこのみっくす』のエフスタッフルームさんに、中野チーム中心にお世話になっているご縁です。2014 年１・２月号には、中野で地域に根付いた展開をされている松崎ハウジングさんにご協力をいただいて、中野チームが「大家さんを募集する広告」を出しました。（次ページ、ご覧ください！）
最近の中野チームは、大家さん候補へのアプローチなど、時間をかけて話し合ったパンフレットも作成し、これからまたそれを使って、外向けのアピールなどもしていこうというところ。そんな状況の中でいただいた、こんな風に地元を知っていく機会はとても貴重で、かつ楽しいものでした。
エフスタッフルームのみなさま、どうもありがとうございました。

CHC スタッフＹ

雑誌掲載

■ 『考える人』 新潮社　2015 年冬号（好評発売中）
特集テーマは「家族ってなんだ？」。スガモフラット、コレクティブハウス聖蹟の２カ所取材で、何人もの居住者に協力いただきました。直接引用されていない言葉も含めて、多くの居住者のいろいろな気持ちが盛り込まれた、とても良い記事になりました。

✉ 居住希望者便り　居住希望者の会 中野チームご紹介

コレクティブハウスづくりの活動を続ける居住希望者の会。希望エリアごとにグループに分かれて活動していますが、今回は、中野区を活動拠点とする、中野チームをご紹介します。

▲みんなで食べるとおいしいね!（スガモフラット）
▲思いっきり広げて遊ぶぞー!（スガモフラット）
▲クリスマスの食事も楽しみ（コレクティブハウス大泉学園）
▲コモンキッチンでゆったり料理（コレクティブハウス聖蹟）
▲コモンルームで思い思いに過ごす（コレクティブハウス聖蹟）

コレクティブハウスに暮らしたい［中野チーム］の紹介

一生の中で、他人と関わる暮らしもいいと思った
●岩本夫妻（20代中野在住・建設関係会社勤務）
「新興住宅街で育ちました。最近、実家に帰って挨拶するご近所さんがいないのは寂しいと思って。下町の雰囲気のある中野は、私たちにとても魅力的。住まいは、賃貸か分譲という選択肢だけではなく、コレクティブハウスという暮らしもあると考え始めました。この町で子育てしたい」

周囲と協力しながら子育てする暮らしに期待
●藤村ファミリー（30代中野在住・中間支援NPO勤務）
「もうすぐ2歳になる息子と、できるだけ長く過ごしたい。共働きで、核家族の私たち。コレクティブハウスなら、周囲の人たちと協力して暮らせるのでは…という期待と希望があります。都心に近いのに、庶民的な雰囲気のある中野は気に入っています」

第二のふるさとで、助け合いながら子育てしたい
●内海ファミリー（40代中野在住・舞台関係の仕事）
「大阪のベッドタウンで(夫)、地縁血縁を問わずに助け合う南九州で(妻)育ちました。中野は住みやすく第二の故郷だと思っています。近所のおじちゃん、商店街のおばさん、お隣さん…いろんな大人と接しながら、子どもがどんなふうに成長するのか、今から楽しみです!!」

懐の深い中野で、地元暮らしを味わいたい
●飯塚さん（40代練馬在住・ソフトウエア会社勤務）
「祖父母の家がある杉並がしっくりきて、ずっと中央線沿線に住みたいと思っていました。社会人になって、渋谷、本郷など都内のあちこちに住んでも、生活という実感はあまりなくてどこも同じような。僕を受け入れてくれそうな中野で、地元の人たちと関わって暮らしてみたい」

暮らしやすい町で、地域の拠点づくりを
●鷲野さん（40代練馬在住・編集校正者）
「以前は娘と住んでいましたが、独立したのをきっかけに。人や建物、緑など住環境や町のサイズがちょうどいい練馬や中野、杉並周辺に住みたいと思っています。単身でもファミリーでも、自分の生活を尊重して、地域の拠点づくりができそうなコレクティブハウスはとても魅力的です」

「おはよう」「ただいま」のある家で暮らしたい!!
●広野さん（40代中野在住・医療関係に従事）
「自宅と仕事場の往復が続き、休日は疲れてひと言も話をしない生活に疑問を感じ始めました。『おはよう』『ただいま』と言って、答えてくれる環境で暮らしたいと思って。プライバシーは守りつつ、いいことも煩わしいこともあるのは承知して、コレクティブハウスを選びました」

▲「共有キッチンの大きさは?」「食事はどうする?」沼袋でのワークショップの様子

▲打ち合わせには、大人も子どもも一緒に参加!!　「人見知りなんてしないよ」元気なちびっ子が走り回る

◆「多世代の多様な人々が共に暮らす」住まいを提案！
NPO法人コレクティブハウジング社（CHC）［2001年2月～］
「共に住む、共に生きる、共に創る」をテーマに、暮らしの中の多様なつながりによってコミュニティを育む仕組みを持つ住まいづくり・まちづくりを支援し、居住者と事業者をつなぐ。
【居住者に対して】コレクティブハウスを作る時、また入居後の自主運営を支援。【事業主に対して】個人、企業などさまざまな事業主とパートナーシップを築き、運営をサポート。都内4カ所（日暮里、巣鴨、聖蹟桜ヶ丘、大泉学園）では、月に1回見学会を開催。現在、コレクティブハウスへの居住希望者は50人を超える。
■問い合わせ：NPO法人コレクティブハウジング社
豊島区目白3-4-5　アビタメジロ302　TEL：03-5906-5340
http：//www.chc.or.jp/　Email：info@chc.or.jp

◆可能性大のコレクティブハウス!!　ぜひ中野で実現を
「コレクティブハウスは、地域交流の場や町の活性化など、さまざまな可能性を秘めています。お互いが顔見知りだから、町の安全も確保できるというメリットも!!　実現すれば、中野では初めての試みとなります。不動産のプロの立場からも、魅力的なコレクティブハウスのお手伝いをぜひしたい」と松崎ハウジング・松崎大作専務。中野でマンションやアパートなどを所有する地主さん、オーナーさん。お気軽にお問い合わせください。
■問い合わせ：松崎ハウジング
中野区上高田2-58-14　TEL：03-3385-5551
http：//www.matuzaki.co.jp/

松崎ハウジング・松崎大作専務

28
「おこのみっくす」2014 年 1・2 月 vol.31 より転載

大家さん募集中！中野でマンション、アパートなどを所有する地主さん、オーナーさん、コレクティブハウスの事業主になりませんか？ ※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

おこのみっくす Oconomix なかの探知記

新しい暮らし・生き方を提案●コレクティブハウス●
「現代版・ちょっとゆるめの長屋暮らし」

家族のような、お隣さん。
ご近所さんとも、仲よしに。
わたしの時間も大切に。
同じ屋根の下で暮らしたい人たちの物語が、
これから中野で始まります。

現在、コレクティブハウスに住みたいという居住希望者「中野チーム」は、大人9人子ども3人の計12人。

中野タウン誌
『おこのみっくすマガジン』
Vol.31 掲載広告

中野チームは、2014年の年明け、
地元の情報誌
『おこのみっくすマガジン』に
大家さん募集の広告を出しました。
メンバーでお金を出し合っての
取り組みでしたが、
現在も大家さんを探しています。
情報をお寄せください。
また、一緒に活動する仲間も
募集中です。
よろしくお願いします！

【居住希望者の会 中野チーム】

■暮らし方＝生き方

みなさんは、今どんな人とどんな「家」に住んでいますか？ その暮らしに満足していますか？ 独身者は通勤に便利な都内のアパートやマンションを借り、子育て真っ盛りの家族は郊外に一戸建てを購入し、夢を追う若者は手頃なシェアハウスで短期間暮らす…など。年齢、家族構成、職業によって暮らし方は人それぞれ。暮らし方は、その人の生き方に反映しているのかもしれません。

■今ふう長屋暮らし

2013年12月の昼下がり、これから暮らす「家」についてワイワイガヤガヤ話し合う男女8人。彼らは、「コレクティブハウス」というものに住みたいと願い、できれば場所は中野がいいと口を揃える。耳慣れないこの言葉……一体なんぞや。

「コレクティブハウス」とは、キッチンやトイレ・浴室を備えた独立した住戸に住みながら、ともに暮らす住人と共有スペースで食事をしたり、おしゃべりしたり。たまには、地元の人たちも行き来するカフェに早変わり!! 住民同士や地域の人たちが、適度に交流し、適度に距離を置きながらほどよい関係を築いていく「家」なのだ。賃貸型集合住宅ではあるけれど、それはほんの少し前、日本のあちらこちらにあった「長屋暮らし」の現代版とでも言おうか。

■みんなで決める!!

参加者は、核家族だけの子育てや隣に住む人がだれなのかを知らないなど、今の暮らしに疑問を持った人たちだ。できれば…ご近所さんと助け合って暮らしたい、地域の人たちと挨拶を交わし、商店街のおじさんと声をかけ合う仲になりたいと願っている。「そんな人間関係、面倒くさくない?」「プライバシーは守れるの？」さまざまな疑問や不安は、住民同士が話し合って解決していく。それが、コレクティブハウスの基本!! 彼らが住む「家」では、食事やそうじ当番など約束事はみんなで決める自主運営・管理なのだ。

■女性が生き生きと

「家事の分担で、女性が自分らしく生きる」1970年代から北欧ではじまったコレクティブハウス。そのよさを取り入れながら、日本の風土に合った多様な暮らし方を提案しようと、NPO法人コレクティブハウジング社(CHC)は2000年に設立。コレクティブハウスは、新築や既存のマンション・寮を活用して、住民が住みたい空間を考えていく。「共有のテラスで花や野菜を育てたい」「図書館みたいなスペースがあるといいかも」。ほしいもの、やりたいことなど自分の意見を言いながら、他の人の要望にも耳を傾ける。住む前から話し合いを重ねて、居住希望者たちは互いの考えに納得し、折り合いをつけていく。

■一緒に暮らしたい仲間

実は、2011年夏、中野・沼袋でコレクティブハウスにふさわしい物件が見つかり、居住希望者たちは「沼袋プロジェクト」として始動した。提案した企画も通り、2013年5月いよいよリフォーム工事へ！だが、事業主の事情によって、直前でとん挫。「本当なら、年末はみんなで暮らしていたはず…」とだれもが思う。プロジェクトは「中野チーム」と名を改め、その後も月1、2回の打ち合わせをするが、思うような物件は出てこない。遠方に暮れたメンバーは、CHCを介して編集部に相談を持ちかけてきた。

■実現すれば中野初!

「中野チーム」は現在12人。家族でもなく、友だちでもなく、“暮らし”でつながる仲間だという。あとは、彼らが一緒に暮らせる「家」を探すこと!! 「複数の世帯が住めるマンションやアパートがあれば、ぜひ声をかけてほしい。場所が中野ならすごくうれしい」と、沼袋プロジェクトから関わるCHCスタッフも、どうにかして支援したいと思う。不動産のプロとして松崎ハウジングも協力しようと立ち上がった。この古くて新しいライフスタイル「コレクティブハウス」が実現すると、都内で5番目、中野初の試みとなる。

「おこのみっくす」2014年1・2月 vol.31 より転載